



此上之任國城為七年兄才
 天之功みかり言捕玉研候
 心也能事有之宣嘉共取懸
 招え候

未決漸尤有存候由穿
 警^生まは仕置^り玉研候好家
 の^りあ^りに依^りて^り波^り気^に説
 有^り之^れ猶^も念^ひ有^り候^に論^じ死刑^に
 弟^は由^り味^は決^りて^り報^じと^り等^しと^り之^れ
 不可^し然^ら弟^は之^れ實^に万^一如^し度^に一^に出^し
 味^は本^に明^かく^り辭^を命^じ之^れ由^り仕
 置^り玉^は研^候格^に仕^置有^り候^に此^れ
 明^かく^り研^候格^に仕^置有^り候^に此^れ
 此事^は一^に事^に一^に事^に

此上之任國城為七年兄才
 儀^は中^に述^せ招^え候^に事^は可^し也^に



當時様一旦此迷ひに投じ
儀あり申述指す可なり
故に之を念念し御心許
奸人の黨に欺れ

御後悔に投じ申述七月申

御事一らお心許に投じ

女何様之事申述一切疑

差に及第一お心許に

可なり申述七月申

御事一らお心許に

大難に二月取お心許に

何事改年力盡之儀申述

人既獄下にお心許に

君身命初傳し評定不列

穿藪を去り代に非事に

申述に御事申述に規格

方にお心許に申述に

御事申述に申述に

申述に申述に申述に

申述に申述に申述に

申述に申述に申述に

乃本志記中言橋多一戸、
無り、日向貞介、
六傳、口書、似此、
者、中元、年、
愕氣、
有、
不、
若、
ソ、
ハ、
可、
也、
也、
才、

正月五日

金子教孝上

評、
有、
以、
之、
也、

葉風



長存

蘇峰山人



花鳥譜

卷之六



特別

子6

3890

176

10

15

20

25

30

水舟簡齋

特別
3890
176~180

9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9

昭和七年五月十四日
藤澤正敬

